

【樹木の部屋】

ハクモクレン (モクレン科モクレン属 Magnolia heptapeta)

和名：ハクモクレン (白木蓮)

別名：白蓮 (ハクレン)、玉蘭 (ギョクラン)

英名：Mulan white magnolia、Tulip white magnolia、Lily white magnolia

モクレン目 落葉高木

原産地：中国

花言葉：気高さ、高潔な心、荘厳、崇敬、崇高、慈悲、など

花の色：白



← 写真-1 ハクモクレンの樹形

撮影日：2019年04月12日

撮影場所：布引ハーブ園(神戸市)にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2、3 ハクモクレンの花

撮影日：2019年04月12日

撮影場所：布引ハーブ園(神戸市)にて

撮影者：M さん



神戸市の布引ハーブ園内で見かけました。

ハクモクレンは、モクレン科モクレン属の植物で、厳密にはモクレン(別名、シモクレン)とは異なります。モクレン(シモクレン)の近縁種です。

ハクモクレンは樹高 10~15m ほどに生長し、春になると新葉が出る前に大型で厚みのある白い卵形の花を上向きにたくさん咲かせます。シモクレンに比べて開花時期が早く、花びらは肉厚です。

5月中旬ごろ先端に雌蕊が実を付け、6月には成熟して緑のまま風でゆれると、数本残してポロッと落ちます。その後、実の根元から2本の新芽が生えて枝になり先端に来年の花の基が育ちます。芽は枯れ葉と共に12月に出現し2月の寒い中に開花の準備が進み、ツボミが膨らむと見る間に開花します。

ハクモクレンとよく似た白い花を咲かせる「コブシ」があります。同じモクレン科モクレン属です。

<ちょっと一言>

ハクモクレンとコブシの見分け方

*ハクモクレン

- ・開花期は3月中旬~4月下旬
- ・花弁は6枚+萼3枚で幅が広く、厚みがある。
- ・斜め上~上向きに閉じた形で咲く
- ・開花中に葉は付けない

*コブシ

- ・開花期は3月中旬~5月上旬
- ・花弁は6枚+萼3枚で幅が少し狭く、少し薄い。
- ・横向き~斜め上など、色々な方向に開いた形で咲く
- ・開花中に葉は一枚だけ、花弁の下に付ける。